

渡島管内観光入込客数調査

渡島総合振興局 産業振興部 商工労働観光課

「観光入込客数調査」について
道における観光入込客数調査は、「観光入込客統計に関する共通基準」（平成21年12月、観光庁）を踏まえ、平成22年2月に制定した「北海道観光入込客数調査要領」（平成9年1月制定に準ずる）に基づき実施しています。

【注記】

① 各市町村の数字について

入込客数：各市町村内で、1人の観光客が1回の旅行で複数の観光地点を訪れても1人と算出します。

宿泊客：各市町村内で、1人の観光客が1回の旅行で一つの宿泊施設に2泊以上滞在しても1人と算出します。

宿泊客延数：各市町村内で、1人の観光客が1つの宿泊施設に複数泊すると泊数分が計算されます。

② 管内総数の数字について

各市町村の数字の単純合計です。管内市町村間の重複は調整されていません。

例) 1人の観光客が1度の旅行で2市町村を訪れ、それぞれで観光地点を訪れた場合、管内総数の入込客数では、2人と計算されます。

③ 上期の実績について

同調査の上期実績を平成29年12月に公表していますが、公表後に上期の数字に修正がありましたので、今調査で修正しています。

1. 概況

平成29年度の渡島管内観光入込客数の総数は、約1,171万人で、前年度から約96万人の減少、前年比92.5%となり、平成23年度以来の減少となりました。

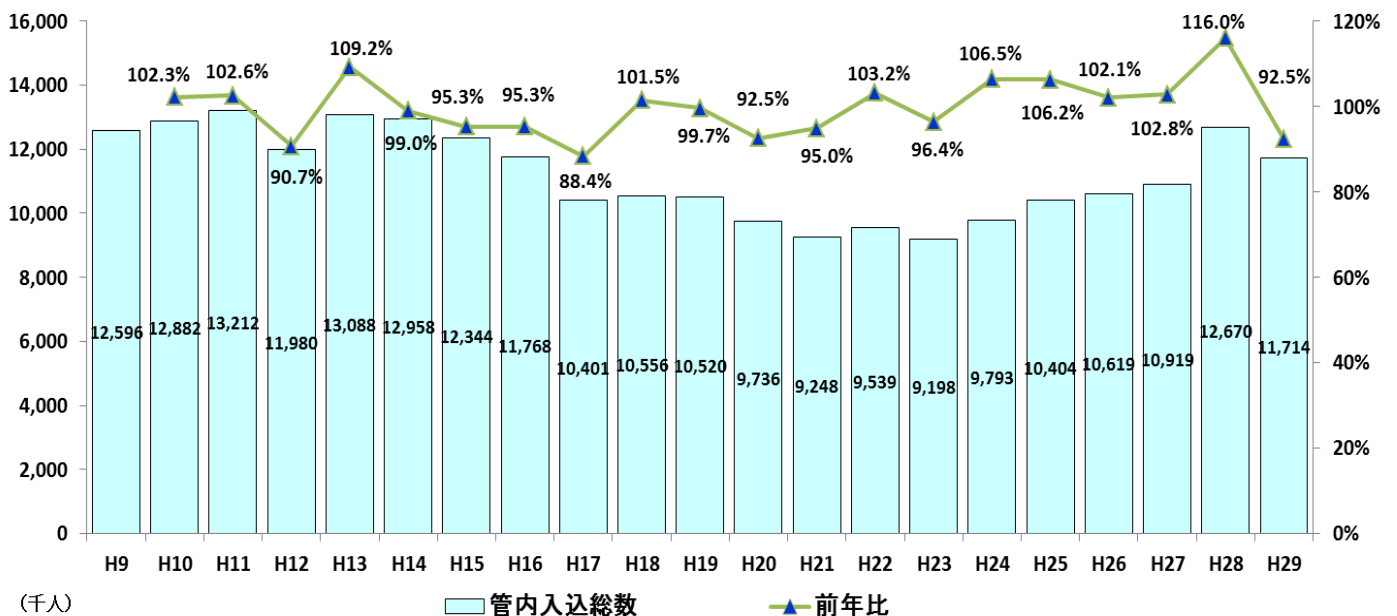
減少の主な要因としては、平成28年3月26日の北海道新幹線開業から1年以上が経過して集客効果が薄れてきたこと、前年度実施した大型観光キャンペーンの反動、夏季の天候不順、9月の連休中の大型台風の上陸、冬季の記録的な大雪による交通機関への影響等が挙げられます。

また、北海道新幹線が開業した平成27年度との比較では、入込客数は、約79万人の増加、一昨年比107.3%となりました。

(単位：千人)

	平成28年度	平成29年度	前年差	前年比
入込客総数	12,670.1	11,713.8	▲ 956.3	92.5%

【入込客総数の推移】



2. 「道内客・道外客」別、「日帰客・宿泊客」別の状況

道内・道外客別では、道内客は約598万人（対前年比94.0%）、道外客は約573万人（対前年比90.9%）となりました。

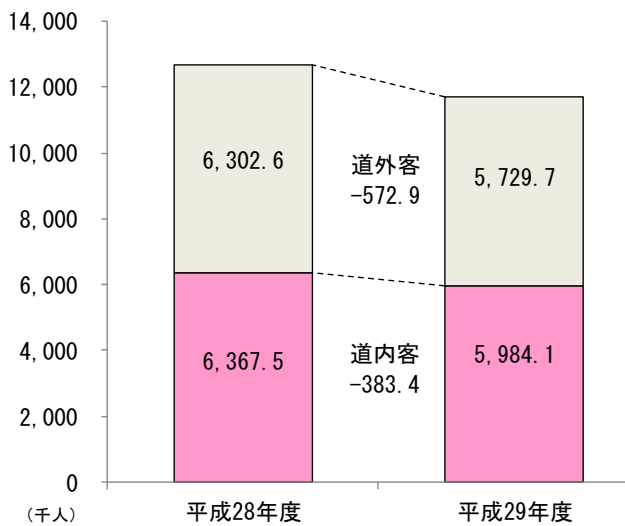
日帰・宿泊客別では、日帰客は約772万人（対前年比89.1%）、宿泊客は約399万人（対前年比99.6%）となりました。

（単位：千人）

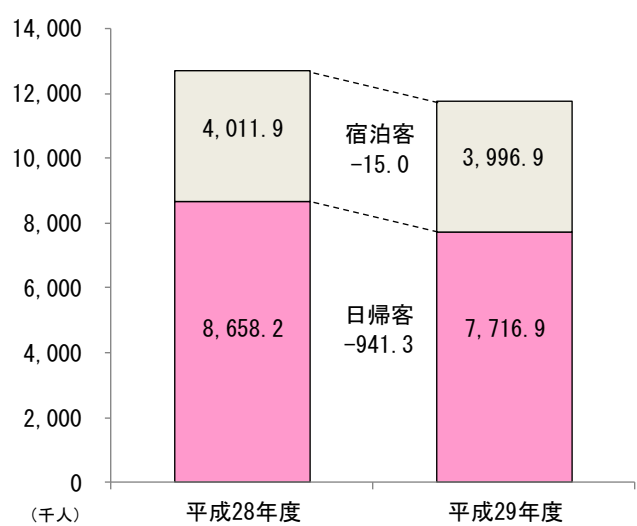
		平成28年度	平成29年度	前年差	前年比	
道内：道外	実数	道内客	6,367.5	5,984.1	▲ 383.4	94.0%
		道外客	6,302.6	5,729.7	▲ 572.9	90.9%
	構成比	道内客	50.3%	51.1%	+0.8%	-
		道外客	49.7%	48.9%	▲ 0.8%	-
日帰：宿泊	実数	日帰客	8,658.2	7,716.9	▲ 941.3	89.1%
		宿泊客	4,011.9	3,996.9	▲ 15.0	99.6%
	構成比	日帰客	68.3%	65.9%	▲ 2.5%	-
		宿泊客	31.7%	34.1%	+2.5%	-

宿泊客延数（千人泊）	4,853.8	4,817.4	▲ 36.4	99.3%
------------	---------	---------	--------	-------

【道内客・道外客の増減】



【日帰客・宿泊客の増減】



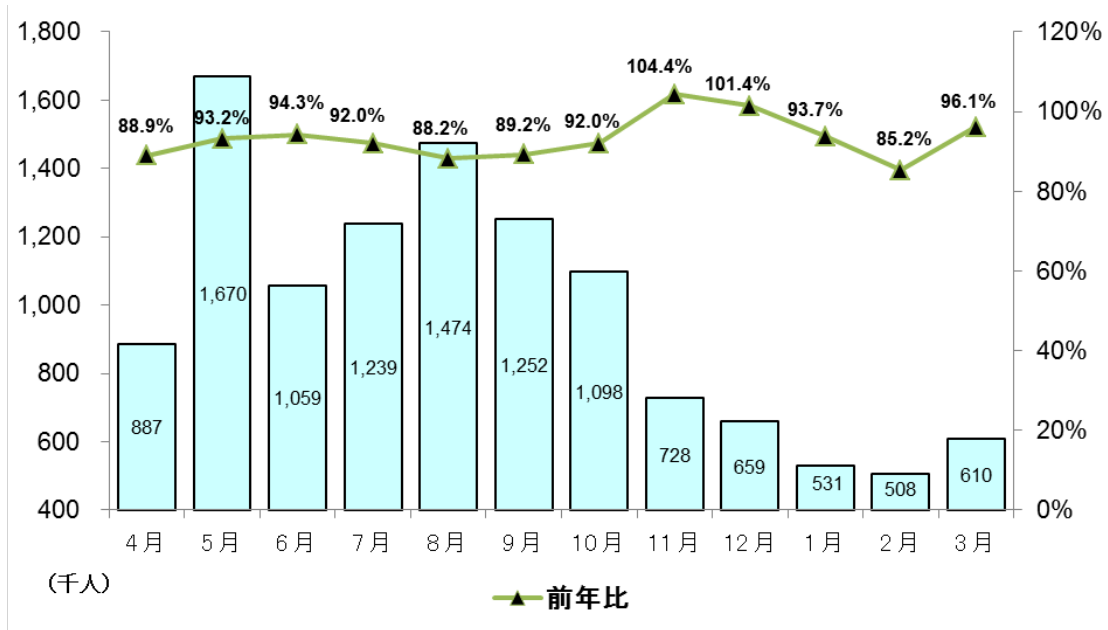
3. 月別・四半期別の入込客数推移

夏季の天候不順、9月の連休中の大型台風の上陸、冬季の記録的な大雪による交通機関への影響等により、全体的に入込客数は減少しています。

（単位：千人）

		月別				四半期別			
		平成28年度	平成29年度	前年差	前年比	平成28年度	平成29年度	前年差	前年比
1Q	4月	997.8	887.0	▲ 110.8	88.9%	3,911.7	3,615.1	▲ 296.6	92.4%
	5月	1,791.0	1,669.6	▲ 121.4	93.2%				
	6月	1,122.9	1,058.5	▲ 64.4	94.3%				
2Q	7月	1,346.6	1,239.4	▲ 107.2	92.0%	4,421.5	3,965.6	▲ 455.9	89.7%
	8月	1,671.4	1,474.1	▲ 197.3	88.2%				
	9月	1,403.5	1,252.1	▲ 151.4	89.2%				
3Q	10月	1,193.6	1,098.0	▲ 95.6	92.0%	2,540.6	2,484.9	▲ 55.7	97.8%
	11月	697.3	727.9	+30.6	104.4%				
	12月	649.7	659.0	+9.3	101.4%				
4Q	1月	566.3	530.8	▲ 35.5	93.7%	1,796.3	1,648.2	▲ 148.1	91.8%
	2月	595.5	507.6	▲ 87.9	85.2%				
	3月	634.5	609.8	▲ 24.7	96.1%				
合計		12,670.1	11,713.8	▲ 956.3	92.5%	12,670.1	11,713.8	▲ 956.3	92.5%

【月別入込客数と前年比】

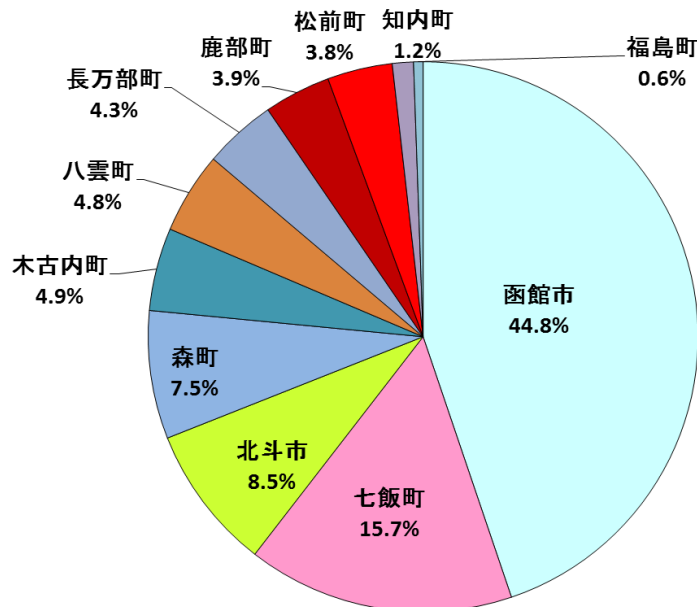


4. 市町別入込状況

(単位：千人)

	平成28年度	平成29年度	前年差	前年比
函館市	5,606.9	5,246.8	▲ 360.1	93.6%
北斗市	1,237.7	997.1	▲ 240.6	80.6%
松前町	434.9	448.4	+13.5	103.1%
福島町	75.0	65.3	▲ 9.7	87.1%
知内町	169.8	145.1	▲ 24.7	85.5%
木古内町	626.1	570.7	▲ 55.4	91.2%
七飯町	1,998.1	1,838.3	▲ 159.8	92.0%
鹿部町	479.5	459.7	▲ 19.8	95.9%
森町	907.1	882.1	▲ 25.0	97.2%
八雲町	628.0	560.7	▲ 67.3	89.3%
長万部町	507.0	499.6	▲ 7.4	98.5%
管内計	12,670.1	11,713.8	▲ 956.3	92.5%

5. 管内市町構成比



平成29年度 渡島管内各市町観光客入込状況

(単位:千人)

市町	区分	H28	H29	前年比	増減要因
函館市	入込総数	5,606.9	5,246.8	93.6%	北海道新幹線の開業ブームが落ち着き、鉄道利用が前年を下回ったほか、団体客利用の貸切バスの減少に加え、9月の連休中の大型台風の上陸により、交通機関が運休するなどの影響が生じた。交通機関別の主な特徴としては、船舶がクルーズ船入港数の増とフェリーの一般旅客利用の増を受け117.7%、航空機では、新たに就航した国内線LCCによる成田国際空港と関西国際空港とのアクセス効果などにより105.7%となったが、他の交通機関では昨年度を下回り、全体としては減少となった。
	(内 道外客)	3,760.8	3,420.9	91.0%	
	(内 道内容)	1,846.1	1,825.9	98.9%	
	(内 日帰客)	1,961.2	1,676.6	85.5%	
	(内 宿泊客)	3,645.7	3,570.2	97.9%	
北斗市	入込総数	1,237.7	997.1	80.6%	北海道新幹線開業から1年が経過し、集客効果が薄れてきている影響か、入込客数については大きく減少となっている。また、昨年度と比較すると、特に夏場(7~8月)にかけて悪天候であった日が多かったためか、海水浴場やきじひき高原近辺等の入込客数は大きく減少している。 一方で、平成29年3月、新函館北斗駅前にホテルがオープンしたことにより、宿泊客数が大きく増加した。
	(内 道外客)	236.6	202.0	85.4%	
	(内 道内容)	1,001.1	795.1	79.4%	
	(内 日帰客)	1,209.3	908.7	75.1%	
	(内 宿泊客)	28.4	88.4	311.3%	
松前町	入込総数	434.9	448.4	103.1%	上半期はさくらまつり期間中である4月、5月の天候の安定とイベントの開催により観光客が増加した。 下半期は降雪量が例年よりも多く悪天候が続き、道の駅の営業時間延長の期間短縮や、松前藩屋敷の3月の臨時開館がなかったこともあり、前年より減少した。
	(内 道外客)	91.1	87.3	95.8%	
	(内 道内容)	343.8	361.1	105.0%	
	(内 日帰客)	391.3	406.9	104.0%	
	(内 宿泊客)	43.6	41.5	95.2%	
福島町	入込総数	75.0	65.3	87.1%	昨年度は前九重親方の死去により、横綱記念館に献花及び記帳に訪れ入館者が大幅に増加したが、今年度は例年並みの入館者数となった。また、新幹線開業効果が薄れたことや、各イベントでの悪天候が続き、客足が遠ざかったため、町全体としては減少となった。
	(内 道外客)	7.7	6.6	85.7%	
	(内 道内容)	67.3	58.7	87.2%	
	(内 日帰客)	72.4	63.3	87.4%	
	(内 宿泊客)	2.6	2.0	76.9%	
知内町	入込総数	169.8	145.1	85.5%	昨年度は北海道新幹線の開業効果により観光客数が増加したが、今年度は開業効果も落ち着いたこともあり、全体的に減少傾向となった。昨年、北島三郎氏を招き、来場者数が大幅に増えた「サマーカーニバル知内」が例年並みとなったことも要因。
	(内 道外客)	46.7	43.2	92.5%	
	(内 道内容)	123.1	101.9	82.8%	
	(内 日帰客)	155.8	131.3	84.3%	
	(内 宿泊客)	14.0	13.8	98.6%	
木古内町	入込総数	626.1	570.7	91.2%	北海道新幹線開業及び道の駅オープンも2年目に入り、入込客数も落ち着いてきている。また、町内の高齢化に伴いイベントの縮小も多少見られたため、全体として減少した。
	(内 道外客)	123.6	110.2	89.2%	
	(内 道内容)	502.5	460.5	91.6%	
	(内 日帰客)	615.5	561.2	91.2%	
	(内 宿泊客)	10.6	9.5	89.6%	
七飯町	入込総数	1,998.1	1,838.3	92.0%	入込総数は全体として減少傾向にある。理由として、天津航空の撤退によるインバウンドの減少や、新幹線開業から2年目を迎え、開業効果が低下してきていることが関係していると考えられる。国内宿泊客が特に少なく、新規コンテンツの周知が出来ていないことや、リピーターの減少から周辺地域において滞在する観光客の減少が起きていると考えられる。 道内容数、宿泊客数の微減の要因としては、10月前後の「函館七飯 Gondola」の Gondola 故障、台風による天候不良、1月の大雪に伴う冬のアクティビティの開始延期等が考えられる。また、「道の駅なないろ・ななえ」の開業に伴い、3月の入込は昨年同時期より上昇している。
	(内 道外客)	1,457.2	1,304.1	89.5%	
	(内 道内容)	540.9	534.2	98.8%	
	(内 日帰客)	1,876.2	1,718.1	91.6%	
	(内 宿泊客)	121.9	120.2	98.6%	
鹿部町	入込総数	479.5	459.7	95.9%	昨年度は道の駅しかべ間歌泉公園の開業効果により、大幅に観光入込客数が増加したが、今年度は開業効果も落ち着いたので、昨年度に比べ減少している。また、昨年度が新幹線開業の年であったことや、今年度は道内の旅行先のトレンドが道東方面に流れた事も減少傾向の要因として考えられる。
	(内 道外客)	25.4	28.9	113.8%	
	(内 道内容)	454.1	430.8	94.9%	
	(内 日帰客)	445.5	423.8	95.1%	
	(内 宿泊客)	34.0	35.9	105.6%	
森町	入込総数	907.1	882.1	97.2%	大型宿泊施設のインバウンド客の増加のため、道外客は増加したが、GWを過ぎてからの天気不順により桜まつりで集客できなかったことや、スポーツ大会等が別の地区で開催されたことにより、全体としては減少となった。
	(内 道外客)	189.5	195.5	103.2%	
	(内 道内容)	717.6	686.6	95.7%	
	(内 日帰客)	835.8	812.6	97.2%	
	(内 宿泊客)	71.3	69.5	97.5%	
八雲町	入込総数	628.0	560.7	89.3%	訪日外国人観光客や郷土資料館の来場者数が今年も増加しており、要因として木彫り熊や徳川家まつりの情報のメディア露出があげられる。宿泊温泉施設では宿泊数は増加したものの日帰り客数が減少したこと、また、昨年まで増加傾向だった噴火湾パノラマパークの観光入込客数の減少が著しかったため、八雲町全体として入込客数が減少した。 例年と比べて降雪量が多かったことも観光客の立ち寄りが減少したことの要因。
	(内 道外客)	195.6	170.0	86.9%	
	(内 道内容)	432.4	390.7	90.4%	
	(内 日帰客)	605.8	533.4	88.0%	
	(内 宿泊客)	22.2	27.3	123.0%	
長万部町	入込総数	507.0	499.6	98.5%	温泉旅館宿泊者数は増加したが、JR利用者数の減や、観光立ち寄り客数の減により、全体としては前年度より微減となった。
	(内 道外客)	168.4	161.0	95.6%	
	(内 道内容)	338.6	338.6	100.0%	
	(内 日帰客)	489.4	481.0	98.3%	
	(内 宿泊客)	17.6	18.6	105.7%	

